

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016, 5, 25 NO. 187

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



## 「すぎなみ保育緊急事態宣言」

# 公園を保育所用地に転用・・・広がる懸念の声

4月、田中区長は「すぎなみ保育緊急事態」を宣言。今年4月の保育待機児童数が、昨年の42人を大きく上回る136人となり、来年度はさらに増加する見通しであるため、緊急対策として、今年度中にさらに約1000名の保育施設を整備する方針を打ち出しました。これに基づき、関連する補正予算が5月17・18日の区議会臨時会で審議されました。

### 区民ニーズ無視、非民主的な進め方 区長の姿勢は大問題

緊急対策の中身は、区内11カ所の区有地(下表)を保育施設に転用するというものです。特に問題なく活用が可能な場所もある一方、利用度の高い公園をつぶすことになる場所では、近隣住民から反対の声もあがっています。整備にあたっては、本来、計画決定する前の段階から、近隣住民や公園利用者に対して丁寧な情報提供し、意見を聞いて進めるべきです。ところが、多くの住民には計画そのものが知らされずに決定され、議会で補正予算を通した後に住民説明会を開くという非民主的な進め方となっています。トップダウンで住民合意をないがしろにする田中区長の区政運営の問題点が、ここでも浮き彫りになっています。

### 巨額の貯めこみ金活用し、整備を

深刻化する保育待機児童の緊急対策や補正予算の提案そのものは重要ですが、複数の地域では住民の反対の声も強く、「保育園増設を求める区民」対「公園を守りたい区民」との争いにも発展しかねない事態を作り出しています。

日本共産党区議団は、問題の大きい区有地の転用

保育施設に転用される11カ所の区有地

施設名等	所在地	種別	予定定員
久我山東原公園(一部)	久我山五丁目	認可保育所	80名
向井公園	下井草三丁目		120名
高井戸みどり公園(一部)	高井戸西一丁目		120名
井草地域区民センター中庭	下井草五丁目		120名
天沼中学校隣接地	本天沼三丁目		100名
旧杉並中継所管理棟駐車場	井草四丁目		80名
土木材料置場	成田西三丁目		100名
小計			720名
善福寺だいかんやま公園	善福寺二丁目	定期利用保育	25名
高齢者活動支援センター(一部)	高井戸東三丁目		15名
北公園緑地事務所資材等置場	下井草四丁目		20名
職員住宅久我山寮	久我山五丁目		15名
小計			75名
合計			795名

### 大紛糾の住民説明会

を修正すること、用地確保のために、民有地も含めた検討も行い、区の巨額の貯めこみ基金を活用するよう求め、補正予算には反対しました。自民、公明、いのち平和などの賛成多数で可決されました。

補正予算が成立した日から、11カ所での住民説明会が始まりましたが、久我山東原公園、向井公園、井草地域区民センター中庭の説明会にはいづれも120名以上の住民が参加。「多くの子どもたちや区民が利用する公園をつぶすことは納得できない」との声が多数あがり紛糾。再度の説明会が開かれることになりました。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

# 認可保育所整備 田中区長就任後の実態とは・・・ 国有地活用に消極的 貴重な用地が次々売却

## 民間任せのツケが 今日の深刻な事態招く

保育待機児童問題が深刻化しているのは、数年来、公有地活用にきわめて消極的であった杉並区政の失政が大きな要因です。

区長は「すぎなみ保育緊急事態宣言」で、就任以来、急ピッチで認可保育所を整備していますが、これまでの整備の遅れを取り戻すまでには至っていません」と言っています。しかし、実際は、民間事業者に土地や物件を用意させるといふ公募方式にこだわり続け、区自らは用地取得に取り組んで来なかったのです。

いまになって、あわてて「保育事業者からの開設提案を中心にした施設整備では、必要な保育定員を確実に確保することは望めない」などと言いつつ出しています。あまりに無責任です。

## 繰り返し返りし公有地の活用を 求め続けてきた党区議団

日本共産党区議団は、民間事業者まかせではなく、区が積極的に未利用の国有地を活用するよう求めてきました。

たとえば、今回、下井草四丁目の北公園緑地事務所資材置場の転用が示されていますが、近接の用地は、かつて800

## 説明をいっさい拒否

舛添知事の態度は許せない！  
共産党都議団 全容解明に全力



西荻窪駅北口で訴える、山添拓  
参議院東京選挙区予定候補(右)、  
原田あきら衆議院東京8区予定  
候補(中)

高額な海外出張、公用車での別荘通い、家族旅行や美術品の購入など政治資金の私的流用疑惑・・・こうした指摘になんら反省せず、嘘とゴマカシに終始する舛添知事の態度に多くの都民が怒っています。都庁には2万件を超える抗議が殺到しているとのこと。当然です。まちを歩いていても、駅での宣伝でも「必死で働いて納めた税金をなんだと思ってるのか！早く辞めさせて」との声が大多数です。

日本共産党は、百条委員会の設置をはじめ、都議会として全容を解明し、辞任を含め知事の政治責任を明確にするために全力を尽くします。

m程度の未利用国有地で、党区議団は、

2011年から12年にかけて、認可保育所整備用地として活用するよう求め続けていました。しかし、区は活用を拒否。

その結果、民間売却され、現在は住宅が立ち並んでいます。このほかにも貴重な国有地は次々と民間に売却されていってしまいました。

公有地を活用し、認可保育所を整備していれば、待機児童問題はこれほど深刻

にならなかったのです。

## 民有地活用も検討を

世田谷区では、保育所の建設を促進するため、区が民有地を借り、保育所を運営する事業者と地権者の間に入ってマッチングする「誘致型」保育所整備に取り組み、今年度、新規で3園が整備されるとのこと。杉並区も、こうした例を参考に整備を進めるべきです。